



男声合唱組曲
柳河風俗詩 第二

立秋

北原 白秋
多田 武彦

柳河のたったひとつの公園に

秋が来た。

古い懐月楼の三階へ

きりきりと繰り上ぐる氷水の硝子杯

薄茶に、雪に、しらたま、

紅い雪洞も消えさうに。

柳河のたったひとつの遊女屋に

薊が生え、

住む人もないがらんだうの三階から、

きりきりと繰り下ぐる氷水の硝子杯、

お代りに、ラムネに、サイホン、

こほろぎも欄干に。

柳河のたったひとりの NOSKAI は

しよんぼりと、

月の出の橋の擬宝珠に手を凭せ、

きりきりと音のかなしい薄あかり、

けふもなほ水のながれに身を映す。

氷、氷、氷……

かつての華やかだった柳河を描きながら、秋の気配を通して、時の移ろい、街や人の寂しさ、美と哀の共存を表現している。夏が終わり、秋のはじまりを告げる「立秋」。しかし現実の柳河にはまだ「氷水」や「ラムネ」「サイホン（ソーダ水）」という夏の風物残り、季節の境目の曖昧さ、終わりがきれいな夏の名残が、寂しげに描かれている。秋が来たが、懐月楼ではまだ氷水を繰り上げているという季節の移ろいのズレが、この詩の核心的モチーフである。

昇降機の「きりきり」という音は、単なる物理的な描写であると同時に、過ぎゆく季節の残響、廃れ行く街の時間の軋みとして象徴的に響く。柳河に「たったひとつの公園」があるという表現にさびれた街や孤独感がにじむ。「秋が来た」と言いつつ、氷水などの夏の情景が描かれ、秋の訪れと夏の残り香がせめぎあう。「紅い雪洞も消えさうに」には、過ぎゆく季節の儚さと、かつての賑わいの消滅を暗示する哀感がある。

かつて賑わった「遊女屋」も今は廃屋。「薊」が生えている。「がらんだうの三階」は、人のいなくなった虚無と記憶の残響を表わす。それでも「氷水」「ラムネ」「サイホン」など夏の喧噪の記憶だけが、まるで機械的に繰り返されている。「こほろぎ」が欄干に鳴く。それは秋の訪れながら、寂しさの象徴でもある。

「擬宝珠に手を凭せ」=橋の欄干にすがり、月の光の中にたたずむ姿は、衰えゆく街と共に生きる孤独な人間像を象徴する。「きりきりと音のかなしい薄あかり」ここまで繰り返された「きりきり」という擬音は、夏の名残の響きであると同時に、胸を締めつける哀しみの音にもきこえてくる。

「氷、氷、氷、氷……」残響のように繰り返される「氷」という語。「氷売りの声」を素材にしながらも、「過ぎゆく時間のこだま」へと昇華された詩的な音響であり、過ぎ去った夏、消えかける記憶、凍りついた時間の象徴。この反復には、白秋自身の郷愁と無常観が凝縮されている。

男声合唱組曲 「柳河風俗詩」 から

立 秋

作詩 北原 白秋

作曲 多田 武彦

やや速く、淡々と

T. Solo *mf*

8 や ながわの やながわの た ったひとつの こうえんに

T-1.2 *mp*

8 m

B-1.2 *mp*

5 *mp*

8 あ ー き が き た ふ る い か い げ つ ろ う の

5 *p*

8 m

p

9 *mf*

8 さ ー ん が い へ きりきりと くりあぐる

m

9 *mp*

8 m

m

mp

13

8

こおりみずの コップ うすちゃにゆきにし ら たま

p

13

8

p *m*

p *m*

m

p

17

8

うすちゃにゆきにし ら たま あ か い ぼ ん ぼ り も き え

mf

17

8

cresc. *mp*

m

cresc. *mp*

21

8

そ う に

dim.

21

8

dim. *mf*

や な が わ の や な が わ の

dim. *mf*

25 *mp* *m*

8

た た ひとつの ノスカイヤに あ ー ざ み が は え ー

mp

29 *mp* *m*

8

mp *m* *mf* さ ん が い か ら

mf す む ひ と も な い が ら ん ど う の *mp* *m*

33 *mp* *m*

8

き り き り と く り さ ぐ る こ お り み ず の コ ッ プ

mf *mp* *m*

37 *mp* *cresc:* *mp*

8

お か わ り に ラ ム ネ に サ イ ホ ン お か わ り に ラ ム ネ に サ イ ホ ン

mp *cresc:*

41 *mf*

こ おろぎ も ら ン かん に

mf

こ おろぎ も ら ン かん に

45 *f*

やながわの たったひとりの ノスカイは しょ ン ぼり

f

やながわ の ノスカイ はしよ ン ぼり

49 *mp*

と つきのでの はしの ぎぼしゅに て をも た

mp

53

せ きりきりと おと の かなしい う すあ か

mf

57 *mf* *cresc..*

きょうもなお みずのながれに みをうつ

り

cresc..

61 *mf* *mp*

こおり こおり こおり

poco a poco dim:

す m

mp poco a poco dim:

65 *p* *dim:*

こおり こおり こおり

p *dim:*

p *dim:*